



第2534回例会（17/18年度第17回）
平成29年11月10日（金）

- 点鐘並びに開会宣言～戸叶 哲副会長
- 斉唱 ～ソングリーダー 大隈 薫弘会員
Rソング「我等の生業」

- お客様紹介 ～親睦活動委員会松田 孝子委員
後藤淳一郎 様（フィリップモリスジャパン合同会社）
佐野 秀生 様 本日のゲストスピーカー
山田 翔 様
市川 清 様（川崎北RC）
小川 湧三 様（川崎鷺沼RC）

- 会長報告 ～戸叶 哲副会長
 - ①去る10月28日、故佐保田實パスト会長夫人とご子息が、黒川会長の事務所へ会葬の御礼に来られました。「本来であれば、例会場へ直接お伺いし、皆様へ通夜・告別式ならびに生前のお礼を申し上げるところではありますが、仕事の都合が付かず、皆様へ宜しくお伝え下さい」との事です。尚、その折に多額の御浄財を頂いております事を申し添えます。
 - ②地区より地区大会第2日目に行われるロータリー財団学友懇談会への案内が参っております。日時:11月11日(土) 9:30～12:30 会場:パシフィコ横浜会議センター3階315
 - ③地区よりロータリーリーダーシップ研究会パートⅢ開催の案内が参っております。
 - ④地区より「九州北部集中豪雨被災地支援チャリティーゴルフ大会」のお礼状が届いております。当日は悪天候にもかかわらず132名の参加がございました。また、チャリティーには合計316,500円のご協力を頂きました。
 - ⑤高津区少年野球連盟納会の案内が参っております。日時:12月2日(土) 18:00～ 場所:ホテルKSP3階

■ 幹事報告 ～石井 修 SAA 会報裏面をご覧ください。

■ 各委員会報告

□ 出席委員会

| 本日 | 会員数 | 対象者 | 出席 | 欠席 | 出席率 |
|-------|-----|---------|-----|-----|-------|
| 2534回 | 69名 | 68名 | 53名 | 15名 | 77.9% |
| 前々回修正 | | メキップ 4名 | | 9名 | 80.9% |

□ 青少年奉仕委員会 ～山寺 雄太委員長

①昨日、黒川会長、棚部会員と共に、東高津中学校の地域清掃に参加してまいりました。また、事前に飯島会員にお願いして、ゴミ袋を寄付させていただきました。

②ミューザ川崎のランチタイムコンサートで10席を援助するロータリーシートの手続きですが、11月15日(水)より開始となります。既に30名の申し込みを頂いておりますが、残り20席はミューザ川崎が用意致します。

③18日の子育てフェスタの集合時間ですが、四役と一部の委員は9:30、その他の青少年奉仕委員は10:30、一般会員は11時頃お集まり頂いてお弁当を食べて頂き、11:30よりご参加下さい。終了後に懇親会を予定しております。

□ 会員増強委員会 ～木所 章委員長

本日、新会員(久保田会員、川崎会員、松田会員)歓迎会のご案内をお配りしました。次週、夜会后、ガーディナで行います。多くの方のご参加をお願い致します。

□ 親睦活動委員会 ～佐野 和人委員長

本日、年末家族会の案内をお配りしました。出欠の連絡は、早めの提出をお願い致します。

□ ボウリング同好会 ～板橋 忠彦会員

本日、黒川会長年度ボウリング大会の案内をお配りしました。場所は、渡邊直人会員が経営するムサシボウルです。日時は12月13日、18時スタート。終了後、表彰式と懇親会を行います。奮ってのご参加をお願い申し上げます。

□ 雑誌委員会 ～鈴木 敬一委員長

- ・横組み P3 RI 会長メッセージ 財団についての言及
- ・横組み P12～19 私たちの目標：ポリオの無い世界

■ 卓話～「加熱式たばこ・IQOS について」フィリップ
モリスジャパン合同会社 後藤淳一郎 様・
佐野秀生 様・山田翔 様



皆様こんにちは。フィリップモリスジャパンの後藤と申します。私は市場開発チームの責任者をして

おり今日は広報の佐野と企画に携わった山田から詳しく IQOS についてご説明させていただきます。

加熱式たばこは現在たばこ文化に変化をもたらしているものです。従来の紙巻きたばこはライターで火をつける、いわゆる燃焼させる製品ですので、それに対して加熱をする、燃やさずに温めて吸うたばこという事で、加熱式たばこという新しい言葉が最近メディアでも取り上げられています。この IQOS の特長は、火を使わないところが大きなテーマです。それと一番たばこが嫌われる要因として煙の臭いがありますが IQOS は、この臭いが軽減されているので屋内環境に悪影響を与えないという評価を頂いております。

喫煙は依存性があり、尚且つ重大な疾患、主に肺がんなどの原因になっております。WHO が試算した結果によりますと、世界中で 10 億人以上の方がたばこを吸うと言われております。であるならば、我々たばこを売るメーカーとしてその責任を果たすために何をすべきか、という事を考えました。その為にたばこが一番嫌われる有害成分を減らしていくという事で二十数年に渡り研究開発を進めてきて、この IQOS が世の中に生まれてきております。

神奈川県は受動喫煙防止条例が 2010 年に施行されておりますが、禁煙だけ IQOS は可能という場所は実験的な企業も含めて 40 社以上になってきております。あるいはビル内の公共スペースでも喫煙所が二か所に分かれ従来の喫煙スペースと IQOS を含む加熱式たばこだけが吸えるスペースが用意されるなど様々な変化がおきています。また、自治体のルールで路上喫煙を規制する条例がありますが IQOS はどのような扱いを受けているのかを弊社で調べました。政令指定都市、全国 20 市の内、16 市では規制の対象外となっており東京都 23 区でも 12 区で対象外となっております。行政側もルールの運用上、従来の紙巻きたばこ IQOS は分けて考えているようです。川崎市でもホームページを見ると路上喫煙防止対策というページの中に IQOS は条例の対象外という事を謳っております。この辺も大きな変化ではないかと考えております。

厚生労働省が今年、健康増進法の改正案で、2020 年のオ

リンピック・パラリンピックまでに世界レベルの喫煙規制・受動喫煙防止対策をしなければいけない状況にあります。今後たばこに関しての規制はどんどん厳しくなっているのは間違いありませんが、その中でも加熱式たばこというのは除外となる可能性が非常に高いと注目されております。弊社としては公衆衛生当局の結論に基づき、たばこに害があるということはメーカーとして真摯に受け止め屋内の公共の場所での喫煙を規制する事は適切であると考えています。しかし弊社の IQOS を含む加熱式たばこについては、先程の有害性成分の減少や空気環境に悪影響を与えないというエビデンスに基づき公共の場所での喫煙規制においては従来の紙巻きたばことは異なる扱いをして頂きたいと主張していくつもりです。

また弊社では企業様が抱える喫煙の問題を改善すべき提案活動も行っております。煙のない社会、それを実現するというのが弊社のビジョンでございます。ではどのように煙のない社会を作っていくかと言いますと、いま存在する紙巻きたばこをすべて煙のない製品に切り替えていく事を目的としております。日本の成人喫煙者が喫煙をして気になっている事と言いますと、たばこの臭い・ヤニの汚れ・たばこの灰・吸い殻などが上がり特に臭い・ヤニの汚れ・灰に関しましては、喫煙者でも半数以上の方が気になっているという結果が出ております。現状は、このような問題を気にせず楽しみたいというニーズが高まってきています。また職場環境における代表的なたばこの問題は、たばこの煙の臭いが多く、喫煙所からの煙の臭い漏れやサービス業の方からは喫煙後に髪や服に臭いがついてしまうという事をよく聞きます。そして生産性の低下やたばこ休憩による喫煙者と非喫煙者の労働時間の問題というのがよく挙げられています。加えてたばこの火の不始末によるリスク。こちらに関しては火災の原因の第 2 位になってしまうほど多いものになっております。先程もありましたが、IQOS につきまして 4 つの利点がございます。まず火を使わずそして灰が出ません。煙の臭いもなく出るのはペーパーという煙に見立てた蒸気です。そして屋内の空気を汚さないという事があります。紙巻きたばこを吸われる方が減ることによって、たばこの煙の臭いというのが減ってきます。そして生産性の向上、たばこの火の不始末による火災のリスクの低下及び喫煙所のコスト削減などが見込まれます。

私どもでは、企業様にお伺いして IQOS セミナーを実施しています。このセミナーにより元々加熱式たばこに興味がなかった方が使用するようになるとか、企業様が抱える喫煙問題の軽減につながったという実績も多々ございます。私どもはこのような形で喫煙に対しての問題というのを各企業様にお伺いして解決していければと思っております。ご清聴ありがとうございました。